

高村京子県議会報告



一般質問
6月25日



7月梅雨の豪雨が熱海市の土石流をはじめ県内でも国道19号線で地滑りが発生、日常の暮らしが奪われた皆さんにお見舞い申し上げます。

首都東京で四回目の緊急事態宣言下での東京五輪にも不安・疑問が渦巻いています。豪雨災害とコロナ禍で、国際イベントよりも命と暮らしを守る支援や対策を求めます。

6月可決承認された補正予算（予算額の97%は国庫支出金）は、新型コロナウイルス対策中心の大型補正予算総額270億円余で、医療供給体制の強化、中小企業者特別支援金支給、県民支え合い宿泊観光需要喚起事業、地域公共交通運行継続支援事業などが盛り込まれています。

地域医療構想は撤回し 病床削減はすべきでない

高村 コロナ禍で、医療機関は命を守る大きな役割を果たしているが、政府は5月21日の国会で、病床削減推進法を可決成立させ、全国で高度救急・救急病床を含め20万床、長野県では4千床もの削減を迫るもの。公的公立病院の統廃合を加速させる地域医療構想は撤回をすべき。感染症対

策の体制強化を位置づけ、高度医療から回復期・在宅医療さらに介護施設との役割分担も含め関係者の議論を。
知事 救急病床の確保も含め持続可能な地域医療体制に向けて各地域医療圏の丁寧な議論を促進していきたい。



経営不振に苦しむ 中小事業者の支援対策を

高村 自粛生活を強いられるままでは、さらに多くの中小業者が閉店や倒産におこまれるのではと危惧する。コロナ禍でも地域経済を再生してゆくためにもワクチン接種の促進とさらに大幅なPCR検査の拡充、事業者支援策の強化を。
健康福祉部長 ワクチン接種の加速とともにPCR検査については検査機関への支援と県独自に事業所や学

校の公式試合参加者の検査拡大を進めている。
知事 県民の命を守ることを最優先しながら、特に飲食店や観光業への支援として「信州の安心のお店」や「県民家族宿泊割」や中小事業者応援金の支給等に対応している。命と暮らしを守ることを念頭に取り組んでいく。

勤務医の労働実態を改善し、 医師・看護職の確保へ

高村 勤務医の過酷な労働実態や深刻な看護師不足の実態をどのように受け止めているか、改善に向けて養成数の確保・就学就労支援の一層の強化を求める。
健康福祉部長 医師の勤務実態は過酷

な状況と認識している。ドクターバンク事業による医師の確保労働環境の改善策を強める。看護職員確保では、ナースセンターの人員体制を強化し、潜在看護師の掘り起こしや就業支援で看護職の確保に努める。



6月議会にむけ、知事に申し入れ（6月11日）



委員会視察で安曇野大王わさび農場へ（7月19日）

産業労働・観光・企業委員会 6月28日～30日

企業局では、2025年までに発電所を現在の17か所から36か所に増やし自然エネルギー電源を増やす計画です。

また水道事業は、上田市から長野市までの県営水道事業を手始めに人口減少と市町村の維持管理危機感から、広域連携で今後50年後を視野に市町村事業との再編統合

を目指し水道事業職員確保や効率化を進めたい方針です。中山間地の水道事業経営への支援も含め県内市町村からも期待があります。

高村は水源を活用しつつ命の水の確保と水道事業経営に県は市町村と連携しつつ、あくまでも公営事業として責任を持つ姿勢を貫くことを強く要望しました。

